

# インダストリアル・グローバルユニオン大会決議 ブラジル・リオデジャネイロ

## フォルクスワーゲンに責任を負わせる

2008年のグローバル経済破綻以降、世界中の労働者が失地を回復するために闘っている。しかし、生活水準改善の取り組みは強力な勢力によって妨げられている。破綻直後に賃金・給付を削減された労働者は闘い続けており、組合がある場合は失ったものの一部を取り戻した。組合がない場合、ほとんどの使用者は報酬を以前の水準に戻していない。

右翼政治団体も社会的給付を攻撃する好機を見いだしている。ここブラジルでは、軍事独裁後に勝ち取った社会・労働権に狙いを定めた攻撃が繰り返されている。

現在、以前に社会的責任を持って行動することに合意した使用者が、約束を反故にするという不穏な傾向も見られる。2015年12月、米国テネシー州チャタヌーガのフォルクスワーゲン工場の熟練労働者が、70%を超える多数票で全米自動車労組（UAW）を独占的な団体交渉代表に選んだ。しかし、フォルクスワーゲンは労働者の決定を尊重しようとせず、アメリカの法律に定める交渉を開始していない。米政府機関である全国労働関係委員会は、フォルクスワーゲンはUAWと交渉していない点でアメリカの法律に違反していると述べた。フォルクスワーゲンは、その行動によって自らのグローバル枠組み協定にも違反している。

インダストリアル執行委員会は5月の会合で、フォルクスワーゲンに共同歩調を取るよう要求した。さもなければ、さらなる措置を講じることになり、同社とインダストリアルとのGFA取り消しの可能性もある。だが、フォルクスワーゲンは相変わらずチャタヌーガの労働者の選択を無視し、アメリカの労働法に従っていない。

今こそ、インダストリアルが行動を起こすべきときである。フォルクスワーゲンに責任を負わせて、企業による基本的権利の侵害への対抗における連帯に関する憲章を実現させるために、インダストリアルは以下の措置を講じる。

- フォルクスワーゲン、インダストリアル、IGメタル、UAWならびに主要加盟組織の会合を直ちに設定し、この問題の解決を目指す。
- できるだけ早く、フォルクスワーゲンに雇用されている組合員がいる全加盟組織の会合を招集し、情報を交換して同社の労使関係慣行の詳細な報告書を作成するとともに、集団行動のための共通基盤を確立する。
- この会合では、世界中のフォルクスワーゲン工場における行動デーの短期的日程を決め、同社に責任を負わせるために争議行為やデモなどの具体的行動を決定する。

- フォルクスワーゲン工場がある国々でメディア活動を計画し、フォルクスワーゲンの行動とチャタヌーガにおける労働者の権利の否認に注意を促す。
- フォルクスワーゲンが労働者の権利を尊重しなければ、同社とのグローバル枠組み協定を取り消すために行動を開始する。